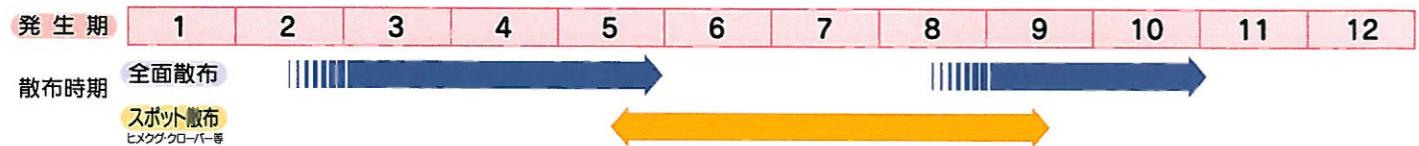


効果的な使用時期

●広葉雑草



殺草スペクトラム

●発生前

g/m ²	ヒメカシヨモギ	クローバー	ヨモギ	ナズナ	タネツケバナ	オランダミミナグサ	オオイヌノフグリ
0.02	●	●	●	●	●	○	○
0.03	●	●	●	●	●	●～○	●～○
0.04	●	●	●	●	●	●	●～○

●発生初期

g/m ²	ヒメカシヨモギ	ヨモギ	オランダミミナグサ	ナズナ	ホトケノザ	オオイヌノフグリ	タチイヌノフグリ
0.02	●	●	●	●	●	●～○	○～○
0.03	●	●	●	●	●	●	○
0.04	●	●	●	●	●	●	●～○

●生育期

g/m ²	ホトケノザ	タネツケバナ	ヒメカシヨモギ	ハルジオン	クローバー	オランダミミナグサ	タンポポ
0.02	●	●	●～○	○	○	○	○～○
0.03	●	●	●	●～○	●～○	●～○	●～○
0.04	●	●	●	●	●	●	●～○

●極大 ○大 ○中 △小 ×効果なし

△使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤とアルカリ性の肥料、農薬などの化学物質とは混用しないでください。
- 本剤はイネ科雑草に対して効果が劣るので、イネ科雑草優占圃場ではこれに有効な処理剤との体系で使用してください。
- 敷設液の飛散や流出によって、周辺作物に影響を及ぼすので十分に注意して散布してください。
- 降雨が予想される場合は、使用を避けてください。
- 本剤は遅効性で温暖期においても雑草が完全に枯れるまで30～40日程度かかるので、誤ってまき直しなどしないよう注意してください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 薬剤散布後は散布器具やホース内に薬液が残らないように十分に洗浄してください。
- 敷設器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

株式会社 ユニカスは日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)を応援しています。

■お求めは…

■販 売
株式会社 ユニカス
■本 社/〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 ☎03-5296-2340 http://www.mbc-g.co.jp
■札 幌/☎011-222-2305 ■仙 台/☎022-261-1319 ■名 古屋/☎052-951-7235 ■大 阪/☎06-6371-3126 ■福 岡/☎092-712-8330

新登場

芝生用除草剤

Aアトラクティブ[®]

アトラクティブ[®]は米国デュポン社の登録商標です。

- 有効成分/クロリムロンエチル25%
- 包装/150g×6袋

その「魅力」はターフのために

緑をともに、あなた。
UNICAS

魅力的な! 特長

非常に安定した残効性

水溶解度が低く土壤吸着が強い為に広葉雑草に対して長い残効性を有します。

卓越した適期幅

広葉雑草の発生前から生育期処理まで極めて安定した効果を発揮します。

日本芝に対する高い安全性

春期、秋期の芝生育期にも安全に使用できるとともに萌芽期にも使用可能です。また根系やランナーの伸長(ターフの形成)にもほとんど影響をあたえません。

被爆が少なく使い易いWDG(DF) 製剤

薬剤調製時の粉立ちが少なく、また使用薬量も0.02~0.04g/m²と使い易い製剤です。

温度に左右されない効果

効果の発現に温度の影響を受けにくい特性を持っていることから、晚秋、早春に発生する雑草にも高い効果を発揮します。

効果のある雑草



タンポポ

ヨモギ

ヒメカシヨモギ



ナズナ



クローバー



オランダミミナグサ

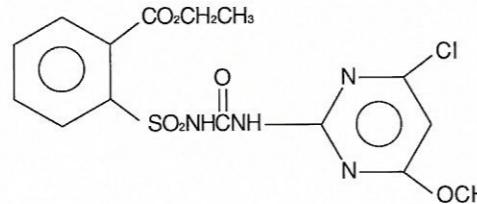
登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		本剤の使用回数	使用方法	クロリムロンエチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝 (こうらいしば)	一年生及び多年生広葉雑草	雑草生育期	20~40g	200ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内

物理化学性と安全性

試験名	DPX-F6025
種類名	クロリムロンエチル水和剤
化学名および含有率	エチル 2-[[[4-クロロ-6-メトキシピリミジン-2-イル)アミノ]カルボニル]アミノ]スルホニル]ベンゾエート

構造式



物理化学的性状	性状 水溶解度	淡褐色水和性細粒 8.55ppm (20°C PH5.29)
人畜毒性	経口 ラット ♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経口 マウス ♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経皮 ラット ♂♀ LD ₅₀ > 2,000mg/kg	
製剤毒性	コイ LC ₅₀ > 1,000ppm (96hr) ミジンコ LC ₅₀ > 1,000ppm (48hr)	
魚毒性		

効果事例(発生初期)

- 試験場所
丸和バイオケミカル(株)
つくば試験地(コウライシバ)
- 試験概要
薬量:0.03g 水量:200ml/m²、サーファクタントWK2,000倍
2005年11月11日処理
2006年3月7日調査
ヒメカシヨモギ、ナズナ、オランダミミナグサ、スズメノカタビラ
3-5L期

0.03g/m²

無処理区

日本芝への安全性

萌芽期処理による影響(委託試験成績書及び社内試験より)

	試験場所	処理日	芝種	薬量 g/m ²		
				0.02	0.03	0.04
平成17年度	植調委託試験	新中国グリーン研究所	コウライシバ	無	無	無
平成18年度	植調委託試験	東日本グリーン研究所	コウライシバ	無	無	無
平成19年度	植調委託試験	東日本グリーン研究所	コウライシバ	無	無	無
平成18年度	社内試験	埼玉県 A GC	コウライシバ	無	無	無
平成18年度	社内試験	埼玉県 B GC	コウライシバ	無	無	無
平成18年度	社内試験	茨城県 A GC	コウライシバ	無	無	無